

アマモ花枝採取会開催の報告

平成26年6月28日 アマモ花枝採取の実施。市民を公募してアマモ花枝採取会を開催した。当日は、天候に恵まれ海辺の再生活動するには打って付けの日となった。多くの市民が参加し、塩釜市内のマリーナから桂島の震災から大規模アマモ場が残った海岸へ移動し、膝や腰まで海に入りアマモの種を採取した。子供達は合間に網でイカやカニ小魚を採っては放流し、また、アサリの天敵であるサキグログタメタ貝の卵を駆除したり、と思いい楽しみに楽しんだ様子であった。

昨年は、会員によっての小規模な花枝採取でありましたが、はじめて市民を公募しての開催であり、参加者が海環境への理解が深まった感覚を認識し、今後の活動の糧となる重要な開催となった。



午前9:00より開会式



大型船で桂島へ移動



大型船から小型船へ移乗し浜へ上陸



種の見分け方を教授され、花枝採取。



採取作業をサポートする小型船2隻。